

## 目安判定機能とは

- 変状の状態を画面に入力すると維持管理標準に準拠した目安判定が自動出力されます。



### 目安判定マトリクス

分類	大	中	小
規模	幅3mm以上	幅1~3mm	幅0.5~1mm
分布	閉合	平行or交差	単独
漏水	連続的に流下	滴下or滲み	漏水なし

規模	分布	漏水	目安判定
...	...	...	...
大	大	大	a1
		中	a1
		小	a1
中	中	大	a2
		中	a2
		小	a2
小	小	大	a2
		中	b
...	...	...	...

自動判定

### ③最終判定



①入力  
②出力



あくまで最終判定は人が行います



「維持管理標準」  
(仮称)に準拠した  
性能確認と記録

健全度の目安判定が自動で出力される

# 構造物管理支援システム

## 価格

●鉄道総研と14の鉄道事業者による共同開発により、低価格を実現！

### ■ 構造物管理支援システム

- JR・大手民鉄・公営地下鉄 : 660万円
- 上記以外の中小民鉄 : 220万円  
(いずれもハードウェア及びデータベースを除く)

### ■ データ整理及び入力等 : 別途見積り致します。

## お問い合わせ先

財団法人鉄道総合技術研究所

国立研究所 〒185-8540 東京都国分寺市光町2-8-38

- 事業推進室(営業)

TEL 042-573-7380 FAX 042-573-7231

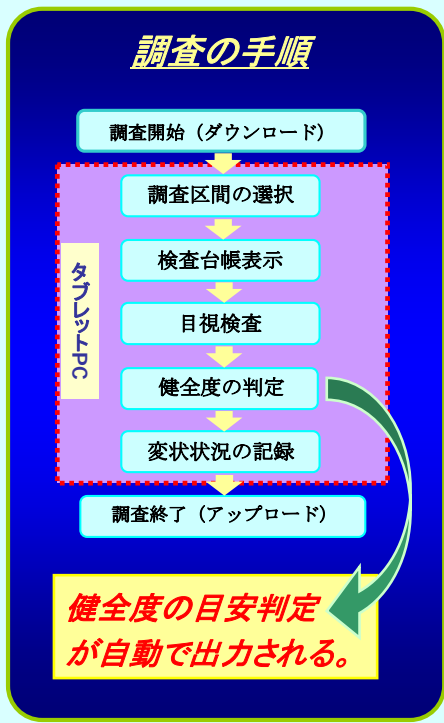
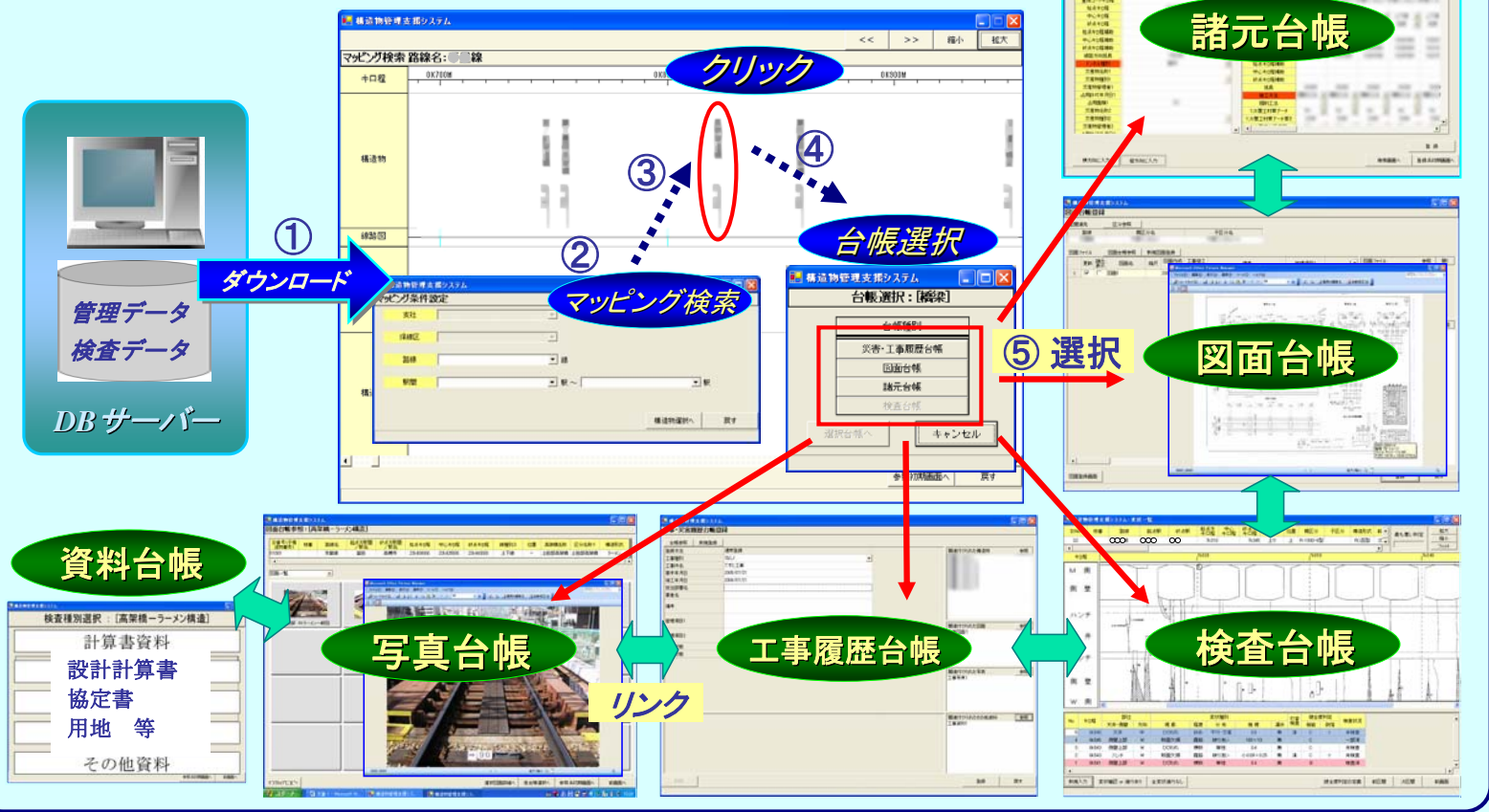
## システムの特徴

- ◆ 構造物の諸元及び関連情報をデータベース管理します。  
→ 路線図が自動生成でき、閲覧したい各種の図面が容易に参照できます。
- ◆ 調査結果の入力が容易で、調査結果をシステムに継続して台帳管理ができます。  
→ 調査結果を容易に入力でき、関係して調査結果の履歴管理ができます。

財団法人鉄道総合技術研究所

# システムの画面イメージ

● 路線図に表示した構造物の各種台帳(諸元、図面、検査、工事履歴、写真、資料)に含まれるデータが、マッピング検索機能で容易に検索可能です。



- ### 対象構造物
- 高架橋
  - のり面
  - 橋梁
  - 擁壁
  - トンネル
  - 下水渠
  - 跨線橋
  - 横断管

